

第4回葉山町自殺対策計画策定委員会 議事録

1. 日 時 平成31年3月4日（月）13:30～15:00
2. 場 所 葉山町役場 2階 2-1会議室
3. 出席者 鈴木健二（委員長）、中越章乃（副委員長）、岸 光男、石井健二、森岡敏明
中世貴三、鈴木祐之、小宮和子、加藤智史
4. 議 題 ①第3回葉山町自殺対策計画策定委員会の結果について
②葉山町自殺対策計画パブリックコメントの実施結果について
③葉山町自殺対策計画（最終案）について
5. 資 料
【資 料】葉山町自殺対策計画（最終案）
【参考資料】第3回葉山町自殺対策計画策定委員会議事録

【開会のあいさつ】

事 務 局：第4回葉山町自殺対策計画策定委員会を開催させていただきます。本日9名全員の委員の方に出席頂いております。自殺対策計画策定委員会の規則第5条2項にあります規則にあるとおり、本委員会は成立することを報告させていただきます。また、傍聴につきましても今回申し込みがございませんでした。

ここで委員の紹介をさせていただきますと思います。前回までは葉山警察署の生活安全課の西尾委員にご出席頂いていましたが、2月末で移動になられたということで後任の森岡課長にご出席頂いています。一言お願いします。

委 員：こんにちは。葉山警察生活安全課長森岡です。前任は三崎警察署生活安全課長、その前は横須賀の生活安全課長でした。三署通して三浦半島地区の生活安全課長を仰せつかっています。三浦市でも自殺対策関係の会議は行っており、こういった内容かということは把握しております。今後ともよろしく願います。

委 員 長：今日は4回目を迎えて最終回となりました。これだけ幅広い領域の責任を持っている方が、自殺という一点に関して話ができるということが大変素晴らしいことだと思います。しかも本日素晴らしい案も出来、これが実践にどれだけ活かせるか分かりませんが、この会議としては今日で終わりになります。あと5年後にだれが刈り取るのか分かりませんが、いろいろな領域で出来るところからやって行こうということです。

【議題1 第3回葉山町自殺対策計画策定委員会の結果について】

委 員 長：それでは、議事に入ります。事務局より説明願います。

事 務 局：第3回葉山町自殺対策計画策定委員会の結果について、事前にお送りさせて

頂いた参考資料の議事録（案）をご確認ください。目を通して頂きご自身のご発言にご意見があればこの場で仰って頂き、よろしければ早々にホームページに結果として載せて頂きたいと考えております。よろしいでしょうか。

（承認）

ホームページ掲載させて頂きます。ありがとうございました。

【議題2 葉山町自殺対策計画パブリックコメントの実施結果について】

委員長：それでは、パブリックコメントの実施計画について事務局より説明願います。

事務局：葉山町自殺対策計画パブリックコメントの実施計画についてご説明させて頂きます。本日机上に配布しました葉山町自殺対策計画の策定に係るスケジュールをご覧下さい。パブリックコメントについて、結論を申しますととくにご意見等はございませんでした。パブリックコメントは予定通り12月10日から1月9日の間開催致しました。実施にあたりましてはホームページに掲載するとともに、福祉課窓口を始め町内の図書館始め公共施設に配架させて頂き、広くご意見を募集させて頂きましたが、特にご意見等無く終了したという事です。2月6日に最後の庁内検討会議を開催しました。本日最終案をお示しする中で、庁内検討会議で出た意見等に対し説明した後、策定委員会の中で最終案につきましてご意見を頂き、修正があれば修正を行い最終案としてまとめ、内部決裁の後、計画を策定していきたいと思っております。印刷にかけまして今年度内、3月末までに計画書を発表した上で、印刷物を関係各位に配送したいと考えております。以上報告となります。

委員長：経過についてご質問ありますか。なければ了承したということで。次に、前回から最終案までの修正箇所などについて説明願います。

【議題3 葉山町自殺対策計画（最終案）について】

事務局：最終案についてご説明をさせて頂きます。前回の策定委員会からパブリックコメントまで修正がありました。修正点をお話しさせて頂いた後、庁内会議での結果、こちらで図って欲しい内容をご相談させて頂きたいと思っております。2段階になりますがよろしくお願いします。策定委員会後パブリックコメントまでの間に大きい変更点がありました。まずレイアウトですが、空白のところに県のキャラクターなどを入れ、字のフォントを調整するなど見やすくしました。内容につきましては7ページ、死亡率が分かりにくいとお話がありましたので、説明を少し増やしています。また、神奈川県の上自殺死亡率が、15.1で正式に決まったという連絡が神奈川県精神保健センターからありましたのでそれを書き足しました。県はずっと下り坂だったのが昨年上がっている状況があります。説明に葉山町は減少傾向にありますが、県は増加しているというように全体を通して修正を行っています。12ページ葉山町の上自殺者の特徴のところは毎回変えさせて頂いて苦

労した所です。方向性を明確にするという事を意識しこのように変えさせて頂きました。以前は1、2などありましたがそれを変更しました。第4章の施策のところは、具体的取り組み以下のところを表にしました。1. 施策の展開の視点、2. 具体的な取り組みと表記を付けて分かりやすくしました。4章の取組は全て四角い枠で囲みました。30ページのところの第5章に自殺対策の推進体制と進行管理のところは1 推進体制、2 進行管理と表記の仕方や、前回は前段にあるものと重複して書いてありましたがそれをすっきりさせて分かりやすくしました。第3回の策定委員会からパブリックコメントまでの大きい修正点は以上になります。パブリックコメントをさせて頂き、その後先日第4回の庁内会議を開催しました。そこでの意見ですが、一つは表紙と裏表紙のセンスが良くないということで、制作課広報担当に作り直しをして頂きましたので、後ほど見て頂ければと思います。4ページ以降前篇を通して、自殺対策についての考え方、四角で囲ったコラムみたいなものを載せさせて頂き、全部上に参考と付けさせて頂きましたが、参考はとった方が良くないと意見を頂いています。こちらについては、付けないと良く分からず、他の市町村も付けているのでそのままいこうと思います。ご意見があれば頂ければと思います。6ページの文章のところで、最後のところ葉山町の自殺者数は増減はあるものの平成29年は一人でした。この文章が淡泊過ぎるのではという意見が庁内委員会からありました。ここは前回も誰だかわかるような書き方はいけないし、増えた減ったで吉、悪しという書き方は出来ないので、事務局としてはこれ以上の書き方は出来ないかと判断しておりますが、そのあたりもご審議願います。7ページで自殺死亡率の説明を行いました。こちらはまだ分かりにくいのではないかと意見がありましたが、ここもこれ以上の書き方は出来ないかと判断しておりますので同様に審議願います。続いて、12ページの2、葉山町の自殺者の特徴のところに、自殺死亡率が出てきて、6ページ7ページで説明をしていますが、分かりにくいのもう一度持ってきた方が良いのではと思いこのようにしています。庁内会議で一番時間を割いたのは20ページ以降、施策の具体的取り組みの四角のところ部署を書く順番をどうするか。関わりのあるところから、部ごとにとにかくいろいろ案があったのですが、事務局としては何処が主たる担当か判断できるものではないので、あいうえお順にさせて頂きました。このところもご検討頂きたいと思います。30ページ、3施策の目標値の四角の表のところですが前回のご意見を頂き、見やすくしました。今回は載せさせて頂いていませんが表紙が付きましたら、葉山町自殺対策計画と何年何月と入ります。20ページ以降の担当する部署の順番について最も審議頂きたいと庁内会議から意見を承っております。宜しくお願いします。

委員長：それでは全体をご覧いただき、ご意見いかがでしょうか。全体的に言えば3回目の会議で出てきた案より分かりやすく見やすくなっていますね。ご意見なければ事務局から提案がありました20ページ以降の担当する部署について順番を

話し合った方が良いですか。

事務局：補足させていただきます。当初の案ではそれぞれの取組をしている課として記載があったのですが、その後の検討段階で、特定の課がそれをやれば良いと思われるのは良くない。四角い枠を作り、広く取組がいくつかあります、取り組む可能性のある課が、右側の主に担当部署として書き出せば良いのではないかとということで、表示の方法が変わったという事です。たとえば 20 ページですと学校教育課が一番にきています。二つ目は子ども育成課です。職員の委員からは最初に名前が挙がっている方が、主な担当課ではないかという誤解を与えるのではないかという意見がありました。事務局としてはあまり深く考えておらず、あいうえお順で表記しています。役所ですのでよくある形で言うと葉山町の場合は政策、財政と始まり総務部、福祉部と組織順に表記するのが良くあるパターンです。一方でこちらではあいうえお順を採用しています。そのあたりが職員である委員には違和感がある。策定委員会の委員の皆様はどうお考えなのか、そのあたりを踏まえた方が良いのではないかと意見を頂きました。このままあいうえお順でも良いのではないかと。役所だと組織順の方がしっくりくるなどご意見を頂ければと思います。

委員：職員の方の違和感ですが、一般の方はそこまで無いと思います。このままで良いと思います。部ごとだとあまりに大きすぎてそれが何処の課なのか分からないと思います。課の表示でよろしいのではないのでしょうか。

委員：自殺の要因についてご説明がありました。私たち民生委員が相談を受けた時にこれを察知する様なことがあったとき、役場の何処にお話しさせていただいたら良いか、ということになると思います。そういう観点からどの様に並んでいたら良いか、という事だと感じました。

委員長：他にございませんか。自殺ということでは私の中ではリアリティーが無いですが、この間の千葉県の虐待死というのがあります。どこかが察知しても連動して動くという処のレスポンスが悪い。結局どこかで立ち消えになってしまう。この問題が虐待を深刻にってしまう原因ですから、自殺でもどこかで受けて、誰かが大変だと思ってもその次連絡するところにリアリティーが伝わるかどうか。じつはそのあたりのところはこの会議では分からない。もっぱら役所内の事であって。それはここで議論することも出来ない。順番はどうでもいいのだけれど、敏感にキャッチする人が居て、つぎに伝える時にどれだけ充分伝えられるかという敏感さが大切ですね。これだけいろいろな課の人に集まって頂いたのだから、そういう敏感さを持ち続けて欲しいですね。

委員：私も順番はこのままで良いと思います。最終的に主に担当する部署というのは一つの項目に対して、書いてあるそれぞれの課が取り組みに対しての全部をやるわけではないと思いますから、それぞれの項目に PDCA サイクルで報告を仰ぐというか進捗を管理して行くわけですね。そこさえ担保されれば順番は関係

ないと思います。一般人の意見としてはこのままで違和感ないと思います。

委員長：沢山書いてあると何処に連絡していいのか分からない。一つの方が連絡しやすいとかという考え方も無いわけではありません。でもやはり自殺の問題の幅広い広がりと言いますか、自殺が起きるという原因の広がりから考えるといろいろな部署が関係していますね。

委員：項目ごとに分かれていて担当が決まっているという訳ではないですね。全体としてここに記載されているかが担当というように私は捉えました。違和感無いです。

事務局：それでは、現状のとおりとさせていただきます。

委員長：続いて、表紙と裏表紙の投票を行います。

※各委員より3パターンから投票し表紙と裏表紙決定した。また、町章が入ったほうが町の計画なのでよいと言う意見があったため、投票の結果選ばれたパターンに町章を入れることとした。

委員長：皆さんに了解を頂いたということでよろしいですか。以上で議事は終了ですが、他にございますか。

事務局：計画の中で、策定委員会において頂きました皆様は名簿の形で公開させていただきます。42ページ5番の委員のところが任期の途中で変わられたというところを掲載させて頂くことをご了承ください。

委員長から議事は終了したとお話がありましたので、事務局から事務連絡をさせていただきます。一点目は本日の会議録ですが、早急に作成して皆様にご確認頂いた後にホームページの方に掲載させて頂きたいと思います。修正の有無については、こちらが作成しおくばり後、一週間程度でご確認頂ければと思いますのでよろしくお願いいたします。2点目です。計画の方は大きな変更がございませんでした。表紙も決まりましたので製本の段階に移らせて頂きたいと思います。本日の結果を踏まえて、表紙、裏表紙若干今のものとは変わってくると思います。委員長の方に私の方から確認をとらせて頂いて、委員長一任ということでよろしいでしょうか。(承認)

委員長に確認頂いて、出来あがったものを皆様にお配りさせて頂きたいと思います。郵送先に変更がございましたら、事務局の方にお知らせください。最後になりますが福祉部長からご挨拶申し上げます。

福祉部長：鈴木委員長はじめ委員の皆さまにはお忙しいなか、お時間を頂きまして6月から短い間ではございましたが、葉山町の自殺対策計画を作って頂きました。葉山らしい皆様のご意見を反映させて頂いた良い計画が出来たと思っております。いろいろとありがとうございました。庁内でも関係機関が連携し葉山町で自殺に追い込まれない町として頑張っていきたいと思っております。宜しくお願いします。ありがとうございました。

事務局：年度内の策定ということで短い期間ではありましたが、委員の皆様から貴重

なご意見を頂きまして策定のめどが立ちました。ありがとうございます。